



枝企画第19号  
平成19年5月2日

国土交通省道路局長 様  
(北海道開発局稚内建設部経由)

枝幸町長 荒屋吉雄



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について  
平成19年4月2日付、国道企第114号で依頼のありました標  
記の件に係る意見について、別紙のとおり提出します。

(企画課企画係)

## 枝幸町における道路・交通に関する現状と課題

枝幸町における道路・交通施策に関する現状と課題から、次のとおり意見を申し上げます。

### 1 高速交通空白地域の解消・緩和

枝幸町を含む南宗谷地域では、札幌・道央圏と遠隔地にあり、鉄道をはじめとして高速道路や空港など高速交通の恩恵を十分に受けることのできない高速交通空白地域となっています。

このため、後述する医療をはじめ観光・ビジネス面での不利・制約や、カニ・ウニなど鮮度が重要な高付加価値食材の一大供給地としての特性が生かし切れておらず、経済的損失にもなっています。

枝幸町ではこれら解決の起爆剤として、昭和62年以降、南宗谷地域にコムーター空港の建設を実現するため誘致運動を続けてきましたが、国における離島以外の新規空港建設抑制の動きや事業主体である道の財政危機から、空港建設による高速交通空白地域の解消は極めて難しい状況にあります。

今後は、この状況を少しでも緩和するため、道央圏に向かう道路整備（国道、道道、自動車専用道等）を含めた多面的な対策を講じる必要があります。

### 2 北オホーツク唯一の地方港湾「枝幸港」へのアクセス向上

枝幸町には、稚内市宗谷港から紋別港まで約200kmの間で北オホーツク唯一の地方港湾「枝幸港」と6つの漁港があります。

特に、地方港湾には、貨物・物資や旅客輸送、また、災害時や緊急時などにおける輸送拠点など、多面的な機能の発揮が求められていることから、これら実現のためには港湾機能充実とともに、道央圏との道路アクセス向上が不可欠であります。

### 3 高度・専門・救急医療の確保と道路・交通基盤

近年の医療事情の悪化は、小規模医療機関において顕著であり、高度・専門的医療はもとより、子どもの出産も地元でできない状況にあります。

南宗谷地域の最寄りの高度・専門医療機関は、名寄市立総合病院となりますが、枝幸市街からの唯一のアクセス方法である国道・道道経由で現在90～100分程度を要しており、特に冬期間については気象条件の影響を大きく受けることとなります。

このようなことから、脳疾患、事故などによる救急搬送はもとより、平時の通院においても四季を通じて安全・迅速なアクセスを確保することが大きな課題となっています。

### 4 最寄り都市（名寄市）への到達時間目標の設定

上記のような課題解決・緩和のため、平成18年度末に策定した「新・枝幸町まちづくり計画」（計画期間：平成18～27年度）において、各種施策毎に今後10年間で達成する「目標指標」を設定しました。

この目標指標は、現状実績に対して町が行う総合的、計画的な施策展開を基本としながら、場合によっては国・道施策や民間投資等を併せて想定し、町が10年後に到達・実現すべき課題を指標化し数値目標として示したものです。

道路・交通関係施策としては、医療・経済・教育等における最寄り都市となっている「名寄市（約95km）までの自家用車での到達時間」を、平成17年度実績「約90分」から、平成27年度目標「70分以内」という数値目標として設定しています。

この実現のため、現在、名寄市から同市智恵文まで整備されている自動車専用道の北への延長と、自動車専用道の整備予定のない南宗谷地域町村が利用しやすいインターチェンジの設定、枝幸市街一国道40号線までの道道の線形改良が目標達成の大きなカギとなり

ます。

また、道央自動車道との繋がりが切れている名寄―士別間の早期整備は、美深以北9万人の住民にとって悲願となっています。